

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ふろしーど あーつ 株式会社 プロシード・アーツ			団体ウェブサイトURL
				http://www.proceed-arts.co.jp/
代表者職・氏名	代表取締役 柿花 龍治			
制作団体所在地	〒	531-0071	最寄り駅(バス停)	JR 大阪駅
	大阪府大阪市北区中津6丁目5番3号			
電話番号	06-6456-0303			
ふりがな 公演団体名	かんさいえんげいきょうかい 関西演芸協会			団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	代表 桂 福団治			
公演団体所在地	〒	531-0071	最寄り駅(バス停)	JR 大阪駅
	大阪府大阪市北区中津6丁目5番3号 プロシード・アーツ内関西演芸協会事務局			
制作団体 設立年月	平成4年3月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 柿花 龍治		製作スタッフ10名 舞台スタッフ12名	
事務体制 (専任担当者の有無)	専任の事務担当者を置く		本事業担当者名	柿花 龍治
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理責任者名	大槻 哲

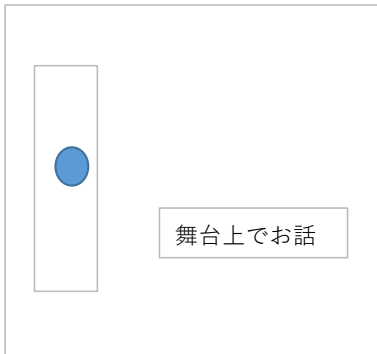
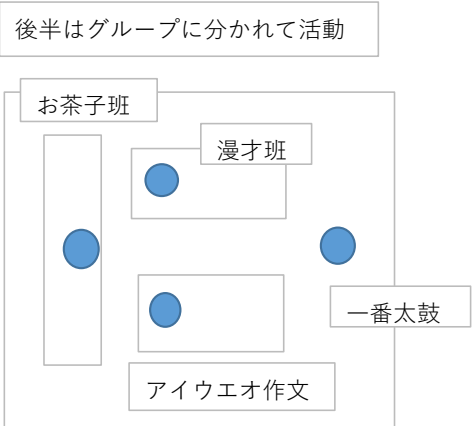
制作団体沿革	株式会社プロシード・アーツと関西演芸協会との上方文化応援チームが実現！ (誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を目指し30年) プロシード・アーツは、小学校、中学校、子どもたちの為の古典芸能主体の学校公演において全国でトップクラスの公演数を誇る舞台芸術集団です。誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を目指すことをモットーに活動しております。 特に創立当初は、小中学生の為の上方落語鑑賞会と音楽鑑賞会の公演普及活動から始まり、その後先生方や教育関係者の要望に応える為日本の伝統芸能、狂言、能、江戸前寄席、東西寄席、邦楽、スクールコンサートなど、多方面にわたって公演しております。 企画も各地域や各学校のニーズに応えるべくプランニングしております。 舞台作りにおいても本物の寄席舞台を学校体育館に再現する為に、東西の寄席小屋をリサーチの上、使用マイクも演芸専門のマイク(SONY C-38B)、スピーカー2対(4本)を使用し、プロの音響専門のオペレーターにより寄席専用にチューニングします。古き良き時代の寄席臨場感を再現いたします。		
学校等における 公演実績	《文化庁公演実績》古典芸能分野(落語・狂言)において採択 2008年文化庁「本物の舞台芸術体験事業」に採択 2010年文化庁「次代を担う子どもの舞台芸術体験事業」に採択 2021年文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」に採択 2022年文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」に採択 《学校公演実績》 古典芸能を柱に創業約30年6200校の公演実績。 平成21年312校、平成22年336校、平成23年217校、平成24年320校 平成25年311校、平成26年318校、平成27年398校、平成28年322校 平成29年305校 平成30年302校 令和 元年257校 令和2年47校 令和3年119校 《落語公演 実施校抜粋》 平成29年大阪市北区学校教育活動支援文化芸術体験事業 採択 日向市立日向中学校、大和市立上和田中学校、稲沢市立平和中学校、広島市立楽々園小学校 学習院女子中・高等科、名古屋市立宮中学校、大阪市立茨田北中学校、豊橋市立東部中学校 横浜市立緑園西小学校、鹿屋市立寿小学校、市原市立千種中学校、大山崎町立大山崎小学校 松原市立恵我小学校、鹿児島県立鹿児島工業高等学校、北九州市立守恒中学校 大阪市立堀江中学校、堺町立堀小学校、庄原市立庄原小学校、川俣町立川俣小学校 国立市立第三小学校、まんのう町立四条小学校、西東京市立住吉小学校 神戸市立池田小学校、本庄市立児玉小学校、明和町立斎宮小学校		
特別支援学校等における公演実績	京都市立 鳴滝養護支援学級 大阪府立 堺 養護学級 中央図書館 わんぱく文庫 大阪市北区文化芸術による子供の育成事業 堀川小学校 聴覚支援学級 大阪府立平野支援学校		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/jSQ0XcXzZcE	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 関西演芸協会 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	関西演芸協会による上方演芸会		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	・一番太鼓でお出迎えと上方の寄席囃子でお出迎え (子どもたちによる寄席の開場をつげる一番太鼓の演奏) ・漫 才 上方若手漫才師による漫才 (本物の漫才実演) ・寄席囃子の紹介と実演 (上方落語の特色 はめもの実演と解説) ・落 語 上方落語入門編 (古典落語を一席) ・大喜利 ～アイウエオ作文を創ろう～ (ワークショップ) ・中入り (休 憩) ・あなたも今日から漫才師 (創作漫才発表) (ワークショップ) ・色 物 日本手品、太神楽、等々・・・上方芸能を主体にした寄席の色物 ・漫 才 上方ベテラン漫才師による漫才 (本物の漫才実演) 公演時間 90 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当あり
	該当事項がある場合	権利者名	該当コンテンツ名
演目選択理由	許諾確認状況		
演目概要	①漫 才 上方演芸の特徴もいべき実力派おしゃべり漫才。会場の子供たちの気持ちを掬い上げるような楽しい漫才で開演です。 ②寄席囃子入門寄 上方落語特有の三味線、太太鼓、締太鼓、笛、銅鑼、鉦、拍子木、等、特徴ある上方の寄席囃子を紹介と共に、 上方実力派落語家による落語を一席、一人の落語家が複数の登場人物を演じ分け、様々な情景を表現する落語の世界をご覧ください ③上方古典落語 一人の落語家が複数の登場人物を演じわけ、さまざまな情景を表現する落語の世界をご聞かせください。 ④色 物鑑賞できるように動きある色物を加えました。 ⑤漫 才 上方演芸の実力派ベテラン漫才の話芸で最後を締めくくります。日頃で会うことのない臨場感あふれる話芸をご覧ください。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	◆ 難しい説明や指導よりも、実際に体験してみる出会いのステージ ～誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を紹介～ TVなどでは、関西弁を聞く機会は多くても、上質で品格ある上方文化に出会う機会はあまり多くありません。関西に馴染みの少ない地域で初めて上方寄席に出会う子供たちの為に、特性を生かした演目「漫才」「はめもの落語」「上方の寄席囃子「本格的な寄席舞台」の実演を提案します。実際に見て、触れて、体験してみる出会いのステージは子供たちの興味や好奇心を引き出し、創作意欲を掻き立てることでしょう。関西演芸協会の全面的な支援を受け、厳選された出演者による本物の上方演芸をご覧ください。 全国でトップクラスの実績と経験を誇る舞台芸術創造団体ならではの企画をプロシード・アーツが提案いたします。		
出演者	①寄席の名前を考えよう 学校に寄席を呼ぼう！というテーマで、「○○□□ 寄席」と言うように寄席の名前を考えて下さい。 ②一番太鼓 寄席の開演を告げる一番太鼓を子ども達に力一杯叩いて頂きます。 ③お茶子修行 お茶子さんは寄席の進行役です。高座の座布団の返し、名びら(めくり)の返し、見台 膝隠しの上げ下げなどお茶子さんとして参加します。 ④あなたも今日から漫才師 ショートストーリーを考え、コンビ・トリオで稽古(ネタあわせ)し、発表します。名前も考えて下さい。 ⑤大喜利 ～ アイウエオ作文に挑戦 ～言葉からイメージを膨らませる リレー方式の言葉遊びです。身近にある物から 頭文字を取って、ひとりひとりが短文を創り一つのお話を作るという創作体験です。 起承転結を考え、みんなで連携しながら、一つのお話を創り上げてゆきましょう。		
出演者	①上方お囃子連 三味線：はやしや都美礼→岡野 鏡 → はやしや律子 → はやしや絹代 太 鼓：月亭 秀都 → 月亭 遊馬 → 桂 枝之進 ②落語/解説：桂 小梅、林家 染八、桂 治門、桂 阿か枝、桂 福丸 ③色 物 和妻・曲独楽・マジック マジック：松旭斎天蝶(日本手品)→ビックリツカサ(マジック)→キタノ大地(マジック) 太神楽：ラッキー舞→豊来家大治郎→豊来家玉之助 ④漫才：コンチェルト、土方兄弟、ダブルケイジ、トライアングル、ボルトボルズ ⑤漫才：シンデレラ・エクスプレス → 幸助・福助 → 若井りき・ゆうき 他 芸歴20年以上の漫才コンビ ⑥落語：笑福亭松喬、桂梅団治、笑福亭仁智、桂福団治、桂枝三郎、林家小染 トップクラス落語家		

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 9 名 スタッフ: 4 名 合 計: 13 名	運搬	積載量: 2 t 車 長: 6 m 台 数: 2 台			
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間	時間程度		
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時	13時30分～15時10分	10分	15時～17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。午前公演の場合は前日仕込みの可能性有り					
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	10日	10日	20日	20日	
	11月	12月	1月	計	140日	
	20日	20日	20日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	5～50名		
			鑑賞人数目安	20～1000名		
【全体の流れ】 プログラムの内容を写真で説明しています。 ①一番太鼓でお出迎え →②漫 オ(若手) →③寄席お囃子教室 →④古典落語 →⑤アイウエオ作文(WS) →⑥漫才体験(WS) →⑥色 物 →⑦漫 オ(ベテラン)  上方文化や風習を今に伝える上方芸能。 上質ではんまりとした笑いが特徴です。 公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出やがわかる写真) ※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。    若手からベテランまで様々な タイプの漫才をお楽しみに   寄席お囃子にも触   創作漫才発表 アイウエオ作文発表    落語や太神楽 寄席の魅力を堪能						

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	約50名ほど
ワークショップ 実施形態及び内容	■実演児童・生徒のみが参加する場合 前半 40分： 上方演芸のお話。自分たちの寄席の名前を考えよう。一番太鼓の実演。漫才のお話。落語のお話。 後半 40分： 実演者としてお稽古 ・一番太鼓 入場のタイミングで打つ一番太鼓を落語家が指導します。 ・お茶子さん 名札や座布団を返したり 見台の設置などお茶子さんの仕事をスタッフが指導します。 ・創作漫才 漫才師の指導で日常の生活風景を切り取り、2人の対話で表現する漫才を創作します。 ・大喜利～アイウエオ作文～ 5つの文字を盛り込んだ短文を創作します。同じ文字を使った短文も ■学年単位や実演者以外の児童・生徒が参加する場合。 前半 40分： 上方演芸のお話。自分たちの寄席の名前を考えよう。一番太鼓の実演。漫才のお話。落語のお話。 ・大喜利～アイウエオ作文～ 5つの文字を盛り込んだ短文を創作します。同じ文字を使った短文も オチのある短文。美しい短文など変化をつけた創作も楽しいです。 ・一番太鼓 入場のタイミングで打つ一番太鼓を落語家が指導します。 後半 40分： ・お茶子さん 名札や座布団を返したり 見台の設置などお茶子さんの仕事をスタッフが指導します。 ・創作漫才 漫才師の指導で日常の生活風景を切り取り、2人の対話で表現する漫才を創作します。 ※ 公開授業の様な携帯で、様々なお稽古をしている児童・生徒の皆さんの様子を鑑賞しながら全員で楽しめるワークショップ鑑賞会を行います。実演者に対しては事前・事後の指導でフォローアップいたします。 学校の要望に沿って、選択して頂くことが出来ます。※ 別添有り		
ワークショップの ねらい	古典芸能を伝承する者たちの修行風景に触れることで、近世から現代に至るまで受け継がれてきた寄席の奥の深さや普遍的な面白さに触れる事が出来ます。また 児童 生徒自身が、実演し、体験し、参加することで、寄席に対する理解が深まり、本公演への理解と興味付けが出来ます。 ◆あなたも漫才師 アイウエオ作文では 『起承転結のあるショートストーリーを組み立てる』『創作の楽しさを体験する』『コミュニケーションと連携の大切さ』を体験。 ◆お茶子さん体験 一番太鼓を叩こう では 『寄席には伝承のしきたりがある』『自分も伝承者としての役割を担う』『コミュニケーションと連携の大切さ』を体験します。 ワークショップで事前指導を受けた子供たちに、伝承者としての自信と誇りを持って頂き、日本文化へ興味を持ち続けて頂くことを意図しています。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	特別支援学校での公演でも原則的にどのワークショップにもご参加いただけます。 お腹からおおきな声を出す。(発声方法)・早口言葉の体験・扇子・手ぬぐいの使い方、等々 まず 体感から理解を深めます。出来る範囲で落語家修業にもチャレンジしていただく為、指導者・スタッフも全力でサポートいたします。 前半は皆でお話を聞きます  後半はグループに分かれて活動 		

リンク先	No.3	【公演団体名	関西演芸協会	】
ワークショップ 実施形態及び内容	基本的には学校様の体育館に舞台を作ります。 上の画像では後ろのバトンに幕を垂らしていますが、小さい体育館では、少し小さめの幕または金屏風で対応致します。一連の様子は、本公演での児童・生徒共演風景です。    児童生徒の皆さんとの共演風景     			